

【ねがいましては】

第15号

平成元年5月25日

共和珠算塾 新浜

家庭が子供に伝えるものは

先日、5月5日付の読売新聞の社説に上記の題名で、とても興味のあることが載っていました。

厚生省発表の子供と家庭に関する実態調査で、親子をめぐることわざ上位3つ

1位 「子を以て知る親の恩」

2位 「かわいい子には旅をさせろ」

3位 「この親にしてこの子あり」

このアンケートの対象は、30代、40代の親が8割と見て驚きました。なんとも60代70代のおじいちゃん、おばあちゃんとさほど変わらない気がします。

親の考えはあまり変化しないのに対し、社会は家庭を様々に変化させているようです。

親の子への希望として、トップは「子供が1人前の社会人になれるようきちんとしつけていく」というもので、社会の変化に対する不安がにじみ出ています。

今後予想されることとして

- ・今以上に共働きが増える。

- ・家族がそれぞれ個人的に行動することが多くなる。

結果、家族の精神的なきずなが見直されるようになり、親はしつけについての不安を大きくする。最後に社説はこう結んでいる。

家庭は社会の規範を子供に伝えていく最初の間である。という基本的な役割は、引き続き不変のものだと思う。

少し難しい内容になってしまいましたが、教室の中で、きょうも小さいのから大きいのもで入り乱れての授業ですが、もちろん「家族」には及びませんが「家族的」を持った教室でありたいと思った次第です。

◎6月の予定

5月	27日(土)	4級～10級 検定	共和珠算塾
	28日(日)	3級以上 検定	中央商業高校
	30日(火)	検定後のゲーム	
6月	1日(木)	東京2地区通信競技会	塾で行います
	15日(木)	千葉県民の日	・・塾お休み